

九条はらまち

福島県南相馬市「はらまち九条の会」 No.219

2013(平成25)年 7月16日(火)発行



○「はらまち九条の会」は、憲法第9条(戦争の放棄)を護って、「戦争をしない国・日本」をめざす自由な市民の会です。もしも第9条が改悪されたら、戦前と同じ軍隊優先の国家になって、若者に「徴兵制」が施行されるようになるかもしれません。原発事故と同じ“まさか”が起こるのです。戦争でなく“外交”で問題を解決する時代です。戦争や軍備より、“天災”に備える時です。

全国の「九条の会」から 励ましをいただいています

- ◇大震災からもう2年4ヶ月。被災地で事故原発に最も近い「はらまち九条の会」に、全国から注目が寄せられ、訪問をうけたり、様々な温かい激励をいただいています。決して孤立してはいません。
- ◇「はらまち九条の会」ホームページをご覧になっている方も全国で増え、ご意見も寄せられています。

◀6月2日、横浜・若葉台九条の会の南相馬市訪問▶



▲原町区錦町「はらまち九条の会」看板前で、交流会後の記念撮影。訪問者は事前学習として、若松丈太郎さんの著作『福島核災棄民』を読まれているので、若松さん(前列左端)にも来ていただきました。左端が右文を寄せられた増田さん。

<フクシマ見学記> 横浜の私たちに何ができるのか 横浜市旭区「若葉台九条の会」

世話人 増田利平

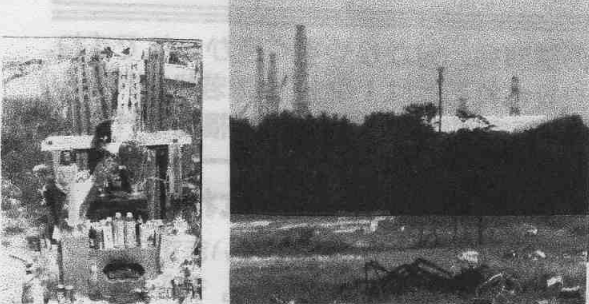
若葉台「九条の会」の活動の一環としてフクシマを訪れ、自分たちの目で被災地の状況を確認しようという事で計画を立てました。「はらまち九条の会」のホームページで、山崎事務局長と出会えたことで、計画から実施まで順調に進めることが出来ました。

総勢18人、バスをチャーターして6月2日～3日の一泊二泊で現地を訪れ、「はらまち九条の会」との交流で平田会長からのお話をお聞きし、若松丈太郎先生ともお会いすることが出来ました。そのあと、南相馬市などの被災地の見学、(翌日は)仮設住宅の方々との懇談など、盛り沢山の2日間でした。

テレビ、新聞の報道で知っていたつもりの認識が吹っ飛びました。放射能汚染のための無人の家屋は、不気味でさえありました。持参した線量計の数値に息をのみました。各所に避難されている被災者の方々の「我が家に戻りたい」という言葉は、切実でした。

帰りのバスの中で参加者から、次々に熱い感想が述べられました。帰ってから感想文を募集して取りまとめました。しかし参加者の受け止めたものはそれにとどまらず、もう一度集まって報告・交流会を開くことになり、会の結果は後日ご報告したいと思います。

あの災害のその後の中で、「はらまち九条の会」や「NPO 野馬土」(相馬市)の活動は、希望の灯です。ますますのご活躍を期待しております。しかしながら一番重い課題は、横浜の私たちに何ができるかという事と、受け止めています。皆様方のご健勝を祈念いたします。
(2013.7.7 記)



▲浪江町請戸では、南5号の事故の福島第一原発を遠望。打ち上げられたままの漁船や住宅跡の廃墟に声もなく、慰霊碑に皆さんで手を合わせました。

<被災地を訪問しての感想> ■「飯舘村からドンドン放射線量が上がり、また海岸線の被災の状況に声も出なかった」 ■「収束宣言と現実のギャップを見せつけられた」 ■「私は南相馬市訪問は2度目でした。原発はいらない。また山崎さんの教え子の被災者(浪江町津島)の方たちの悲痛な叫びをたくさん聞きました」 ■「どう生きていく、とつきつけられました」 ■「仮設住宅のひどさ、人として扱われていないと思いました」 ■「被災した浪江町の酪農家が家族同様の牛40頭を殺処分したり、仕事の無い辛さ、苦しさ、悔しさに胸がつまりました」

◇「若葉台九条の会」の皆様は、南相馬市のゼロ歳から18歳までの「大震災による遺児等への支援金」として、カンパ37,000円を南相馬市長あてに振込送金されています。



▲この「憲法」冒頭には、1971年当時の山田貢市長が挨拶を寄せられています。それが浪江町馬場有町長のホームページ(2012年4月掲載文)の「私たちに憲法に規定された権利があります。これらの最低限の権利を強く訴え戦っていきたい」によく似ていて驚かされます。

復刻版「憲法」が人気です!
 今から四十年前の一九七一年に、旧原町市が市費で発行し、市内一万二千戸に配布したものの「復刻版」です。憲法全条を掲載。手軽と大変好評です。(一冊一〇〇円でお頒けしています)

■この『憲法』小冊子は1971(昭和46)年5月、当時の「原町市憲法を守る会」(会長広瀬正弘・副会長古山哲朗・事務局長相良利信)が、市当局の理解を得て市費で発行し、市内全戸に配布されました。■それから36年後の2007年8月、南相馬市内4つの九条の会(はらまち・小高・鹿島・相双教職員)が、小高区出身の憲法学者鈴木安蔵の映画『日本の青空』の益金をもとに復刻版を作成。毎年、市の新成人にも贈呈。■福島市の講演会の時、井上ひさしさんに贈呈すると、他会場の講演でこの復刻版を皆さんに示して紹介してくれていたそうです。■今年になってその便利さからか、関東地方の九条の会から100冊単位で“注文”が相次いでいます。多少の利益が出るので、会の運営上もちょっと助かります。

＜ベストセラー・憲法の本＞

憲法論議の高まりで、今憲法の本も読まれています!



- 『日本国憲法』なのだ!』赤塚不二夫・永井憲一著(草土文化900円)30年前の漫画でも新鮮!「日本はもう戦争はいたさないのだ!」とバカボンパパが宣言
- 『日本国憲法』(小学館525円)発売から31年。コンビニでも。100万部突破
- 『子どもにつたえる日本国憲法』井上ひさし著・いわさきちひろ絵(講談社1000円)
- 『けんぼう』のおはなし』井上ひさし著・武田美穂絵(講談社1365円)
- 『憲法がヤバイ』白川敬裕著(ディスカヴァー・トゥエンティワン1050円)

＜お便りよ！＞

- ◆「いつもご苦労様です。小出先生の講演会、分かりやすく良かったですね。それにしても、『九条の会』の存在の意義が、こんなに早く立証されるとは!?(会津若松市Kさん)
- ◆「小出先生講演会に千人以上が入場。それだけ市民の関心や不安が感じられます」(福島市Hさん)



7月9日、吉田昌郎(まさお)元福島第一原発所長が死去されました

事故原発発生時に収束作業に命をかけた吉田元所長に、今賞賛の声が強まっていますが、こんな温かい言葉もありました。「ここで働いているほとんどの人が福島、浜通りの人。彼らも避難民で家族が避難している。浜通りを何とかしたい気持ちは、作業員みんなが持っている」と。それは、門田隆将著『死の淵を見た男』PHP研究所 ¥1785でも、詳細に述べられています。

＜事務局よ！＞

◆「小出裕章先生講演会」のお話、放射能汚染の問題は分かっていたとは言え、大変深刻な内容でした。講演会の感想やご意見をお寄せください。
 ◆震災後、会員の住所不明や、会報が届かない方も毎回数名出てきています。よろしければ住所変更の場合、事務局までご連絡ください。

- ◆福島県九条の会の「96条先行改正反対署名」にご協力ありがとうございました。会員野村静子さんは200名以上の署名を集められています。
- ◆「9条を守ろう」という国民の意識の高まりは、全国の地道な「九条の会」運動の成果と言われています。もっと胸を張って、堂々としていいのですね。
- ◆戦争体験・震災のことなどご寄稿ください

＜「はらまち九条の会」事務局連絡先＞

- 会長:平田慶肇 TEL0244-24-1211 ○石田賢二 TEL0244-22-4037 ○早坂吉彦 TEL0244-22-0326
- 事務局長:山崎健一(神奈川県に避難中) TEL090-7527-5453 Eメール:yamazakiken1@gmail.com
- 会計:井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内 TEL0244-22-7511・FAX26-0892
- 番場恵子 TEL0244-22-0715 ○ホームページ担当:大浦祥見 TE0244-24-0704